

これまでに実用化された技術は次のようなものがあります。

## カーブ警報装置



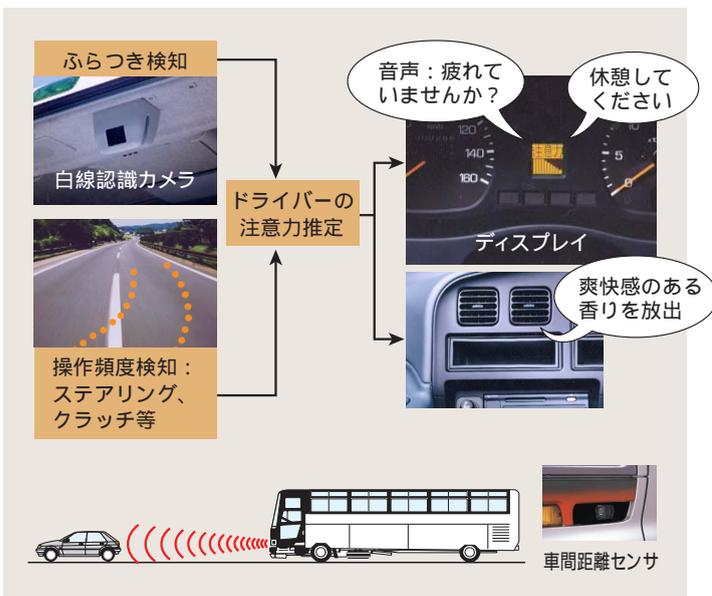
カーブに進入する速度が大きく危険と判断される場合、運転者に音声で注意を促し、状況に応じてシフトダウン制御を行います。

## 車線維持支援装置(レーンキープシステム)



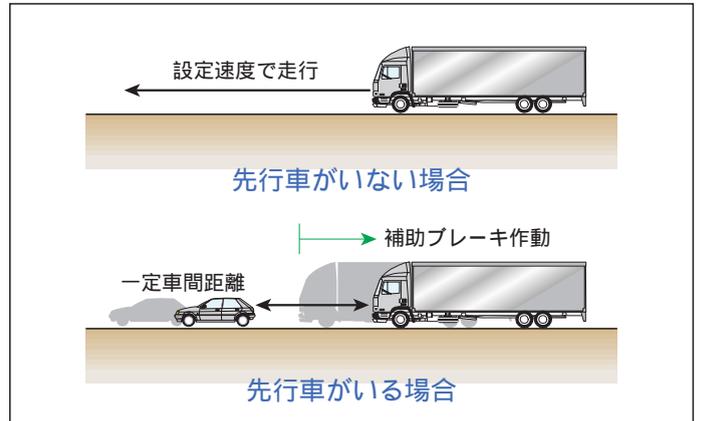
カメラで前方の車線を認識し、高速道路の直線路で車線を維持するようにハンドル操作を支援します。

## 居眠り警報装置、車間距離警報装置



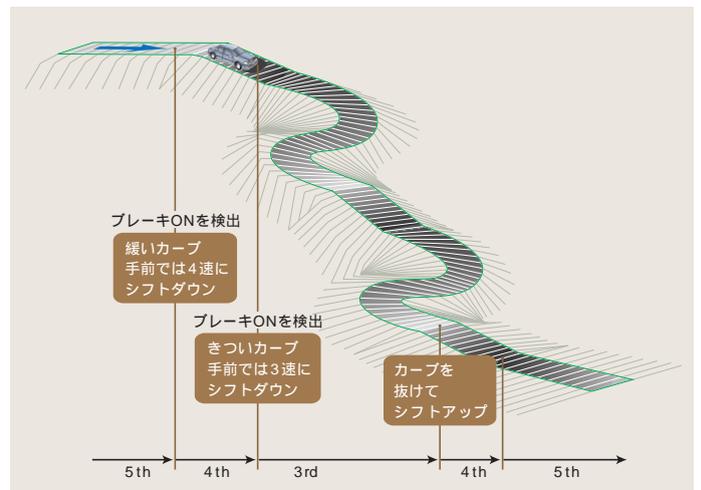
カメラで車間距離や車両の蛇行等を検出し、注意力が低下している場合に音声や香りなどで警報を行います。

## ブレーキ併用式定速走行装置(ACC)



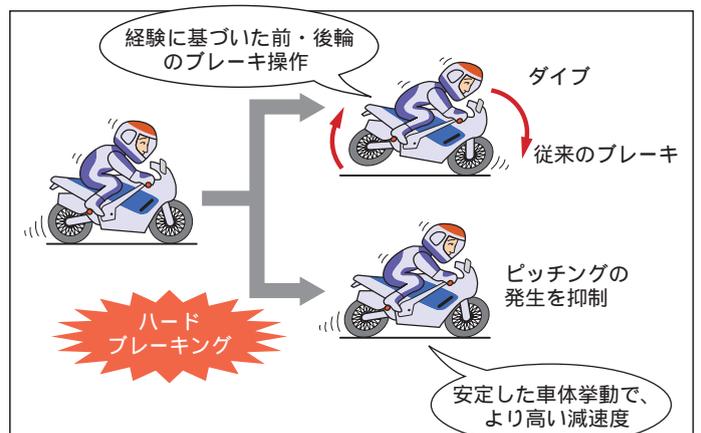
レーザレーダーで前方を監視し、速度を一定に保ち、先行車がいる場合には一定の車間距離を保ちます。

## ナビ協調シフト制御装置



カーナビゲーションからのカーブ情報と、道路勾配やドライバー操作の情報を利用してより適切なシフト制御を行います。

## 前後輪連動ブレーキ



前・後輪のブレーキ力を適切に配分し、車体が安定した挙動で、強いブレーキが可能となります。